



最先端技術が集積 東葛テクノプラザ



豊かな環境に抱かれた緑園都市  
柏北部東  
柏たなか駅

千葉県柏市 面積170ha  
計画人口17000人

地区北側の利根川沿いは、見渡す限りの田園風景。周辺の農業エリアとの融合を図った、落ち着きとやすらぎのある街づくりが特徴となっています。とれたての農産物で食卓を豊かにしたり、休日には農業体験をしたり、心と体をリフレッシュする環境が用意されています。周辺には東大柏キャンパスや、東葛テクノプラザなどの最先端施設も集積しています。



流体をイメージした 柏たなか駅

「みんなが夢を持てる街“柏へ”」  
柏市長 本多 晃

私が10年以上見続けた夢が、その夢を超えて実現したのがつくばエクスプレスです。開業早々ですが、早くも沿線の地価が上昇に転じたようで期待の高さが伺われますし、乗られた方の評判も上々です。今後、駅周辺の基盤整備が進めばもっと評価が上がってくるでしょう。

柏を、古代の国際都市パピロンに例えられた方もいますが、絞りきれないほどの資源と魅力を持つ、将来への可能性の高い都市であり、これからは若い方、シニアの方、すべての市民が、自分を活かせる街、夢が持てる街にしたいと考えています。商圏人口230万の商業都市、活気のあるスポーツ都市、そして科学・技術の都市として、これからは知的人材、とくに若い学生が学び、住みつく街という特性が加わっています。

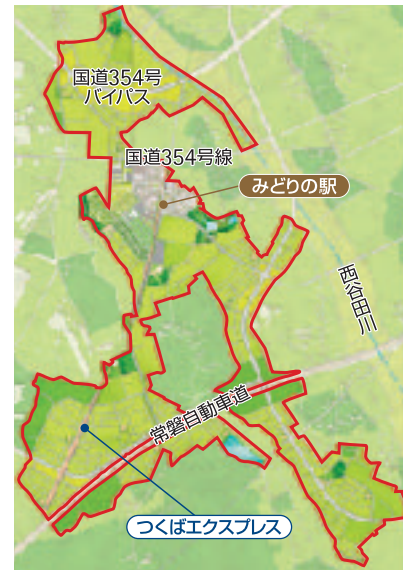
一般に住みやすい街としては、高山や長崎などの歴史のある街、そして政令指定都市であれば、ほどよい規模の仙台や広島などがあげられますが、私はそれをプラスして、夢と可能性のある街、自分を活かせる街をあげたいのです。それが柏です。

UR都市機構は「柏たなか」駅を中心に「農」をテーマとして事業展開していますが、隣接して約2000haの田中遊水池という肥沃な農地があり、地域性をいかしたコンセプトになって

広大な柏の葉公園



新しい知の中心となる 柏の葉キャンパス



フードマーケットカスミも開店



みどりの駅



みどりの駅前広場

のんびリズムに出会うまち  
つくば みどりの里

茨城県つくば市 面積293ha  
計画人口21000人

人の暮らしと自然との接点として、重要な役割を果たしてきた里山。この里山の自然を学ぶをテーマに、新しいふるさとづくりをすすめています。駅に近接した「池と一体となった緑地」や周辺の樹林でのさまざまな里山環境体験など、肌で感じるスローライフがここにありま。つくば市の南玄関として、研究学園都市にも都心にもアクセスが便利な好立地の街です。

広い空の下、  
面白いことがおこるまち  
暮らしの企画舎 井口百合香

それが「つくば」だと私は思います。つくばには、今年で13年目になるカスミグループの社会貢献事業「わたしの企画応援します！」があります。これはスパーマーケットを経営するカスミが、マイケル・グレイブス設計による社屋を建てた際、この建物で地域貢献を、と始めたもの。市



マイケル・グレイブス設計 カスミ本社

民から企画を公募し、選ばれたものには、場所、資金、社員の協力を提供します。以来、会社と思えない想像力をかきたてる色と形にあふれたこの建物で、幾多のユニークな企画が展開されてきました。

つい先日、国際的に評価されるウィーンのアンサンブル「タムム」を迎え、とびきりすてきな舞台が実現しました。ダンス、絵画、音楽のドイツ語の頭文字をとって「タムム」。ウィーン在住の作曲家阿部京子の音楽が流れる中、スクリーンの前でダンサーが踊り、そこに絵師ローマン・シャイドルのライブドローイングが投影されます。この前衛的な世界に、つくばでは子どもたち、地域のダンスグループDAS、そしてDASメンバーの赤ちゃんたちまでが出演、見る人の心をつち掴んでしまいました。

そして、つくばには、今年で8年目になる「つくば100本のクリスマスツリー」があります。磯崎新設計による



ウィーンのアンサンブル「タムム」の公演

つくばセンタービルの広場に、1000本の本物のモミの木が並び、10000件もの応募の中から選ばれた子どもたちとその家族により飾り付けられます。オーナメントの製作は数ヶ月がかり。「親子で夜なべでものをづくり、心がつながった」などの感想が寄せられます。今年のテーマは、「ようこそつくばへ!」。TXでつくばを訪れる皆さんを、1000本のツリーが温かくお迎えします。

舞台があって、仕組みがあって、主人公となる輝く市民がいる。だから、広い空の下、あちこちで面白いことが起こる。これからもそんなつくばであってほしいと願っています。



つくば 100本のクリスマスツリー